

おわりに

本報告書は、『「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成 ―アクティブ・ラーニングを導入した新たな学習指導方法の開発―』プロジェクト2年目の活動報告内容をまとめたものである。各4本柱の主な成果をまとめると、次のようになる。

①アクティブ・ラーニング授業が実践できる教員養成プログラムの開発

ICT活用ワークブックを改善して、共通科目（情報教育入門）において全学部学生を対象にしたAL授業が実践された。また、ICT機器導入における支援体制や支援員の研修システムの本格運用が開始された。

②アクティブ・ラーニング授業が実践できる現職教員研修プログラムの開発

教員免許更新講習や公開講座で、AL活動を取り入れた講習を開催した。また、現職教員も参加可能なALに関するFD講演会・集会を開催した。

③アクティブ・ラーニング授業が実践できる大学教員の養成プログラムの開発

本学教員によるFD集会が2回、他大学の教員によるFD講演会が3回開催され多くの方々にご参加いただいた。いずれもAL授業の実践例、他大学で実践されているAL取組例が報告され、本学教員のALに対する認識が深まったことが期待される。

④アクティブ・ラーニング授業の指導方法・教材の開発、推進・拡充

AL授業が実践できるように、第一共通棟303、306教室の壁面にホワイトボード貼り付け工事を行った。本学シラバスに授業回毎のAL有無のチェック欄が追加されたことにより、学生に対してAL授業の周知が行われた。



第一共通棟 303 教室



第一共通棟 306 教室

本プロジェクトの活動は、多くの方々の協力に支えられています。学外・学内の多くの先生方にFD講演会・FD集会で講演や発表をしていただきました。今後もプロジェクト推進に多くの方々のご協力が必要となりますので、よろしくお願い致します。

プロジェクトメンバー代表

伊東 正人